

上下水道事業の概要について

上下水道部経営総務課
令和7年5月8日

目次

- ・地方公営企業とは
- ・南丹市水道事業の概要
- ・南丹市下水道事業の概要
- ・現行の料金体系について

地方公営企業とは

地方公共団体は、一般的な行政活動の他に、水の供給や公共輸送の確保、下水の処理など地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供する様々な事業活動を行っており、こうした事業を行うために公共団体が経営する企業活動を「地方公営企業」と総称している。

本市では水道事業、下水道事業を地方公営企業として事業運営しているが、他にも交通事業、病院事業、土地造成事業など事業種別は多種多様である。

公営企業では企業の経営に伴う収入で事業実施することが基本

●地方公営企業法

(経営の基本原則)

第三条 地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されなければならない。

(経費負担の原則)

第十七条の二第2項 地方公営企業の特別会計においては、その経費は、前項の規定により地方公共団体の一般会計又は他の特別会計において負担するものを除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもつて充てなければならない。

●地方財政法

(公営企業の経営)

第六条(一部抜粋) 公営企業で政令で定めるものについては、その経費は、その性質上当該公営企業の経営に伴う収入をもつて充てることが適当でない経費及び当該公営企業の性質上能率的な経営を行なつてもなおその経営に伴う収入のみをもつて充てることが客観的に困難であると認められる経費を除き、当該企業の経営に伴う収入をもつてこれに充てなければならない。

持続可能な経営を行うために

【公営企業の使命】

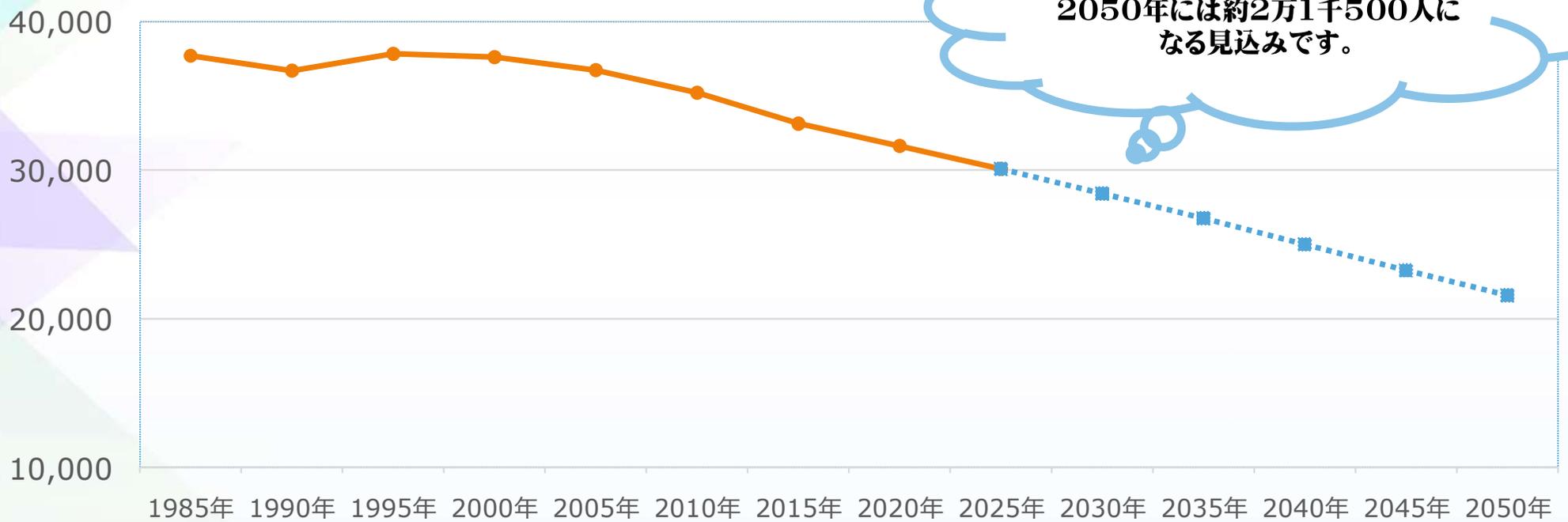
安全で安心できる水道水の供給や、公衆衛生を改善する汚水の排除を恒久的に持続可能な事業経営を行う。

【そのためには】

現在かかっている費用を賄うだけの収益を得ることはもちろんのこと、将来の更新投資に必要な資金を計画的に貯めることが必須である。

人口の見通し

(単位：人)



人口は今後も減少しつづけ、
2050年には約2万1千500人に
なる見込みです。

—●— 実績値 -■- 社人研推計

水道事業・下水道事業の現状

人口に対して面積が広く、また中山間地域であるため地形上の起伏も多いことから、必然的に経費が嵩み、厳しい財政運営を強いられています。

物価高騰の影響や、管路や機械設備等の大量更新の時期に差し掛かかっているため、これまで以上に経費の増加が見込まれるものの、今後、収入が大幅に増加する見込みはないため、非常に厳しい状況となっています。

南丹市水道事業の概要

- 給水人口:29,768人
- 給水契約件数:13,295件
- 給水収益:685,459,143円
- 保有資金(現金):2,501,775,599円
- 借入金残高:3,264,380,467円

(令和5年度決算数値)

南丹市水道事業の概要

<水道施設>

地区名	取水施設	浄水施設	配水施設	加圧施設	合計
園部町	8	3	10	7	28
八木町	2	1	5	5	13
日吉町	12	10	29	9	60
美山町	15	14	27	5	61
合計	37	28	71	26	162

(R6.3.31現在)